



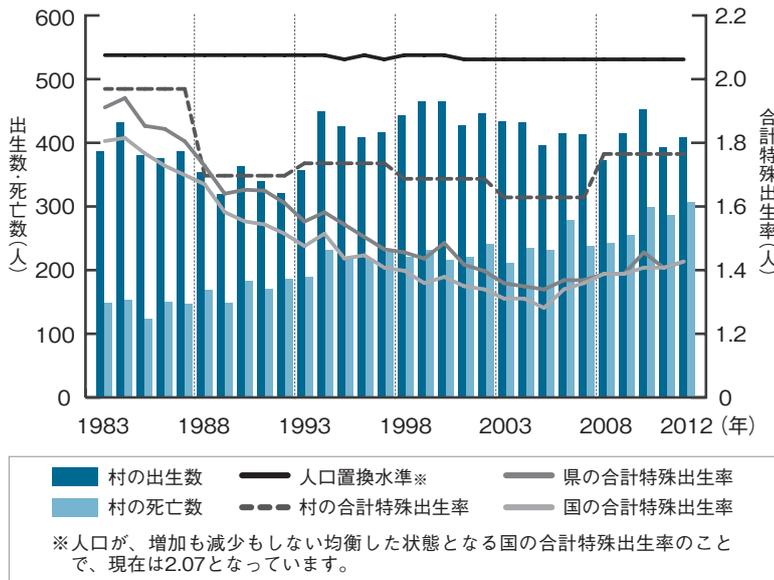
# 世人事(ひとごと)ではない“人”の話

～統計データで見る「東海村人口ビジョン」～

第2回目は、「**出生数・死亡数や合計特殊出生率の推移と、既婚女性の子どもに関する考え**」についてご紹介します。詳細は、村公式ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】企画経営課企画政策担当(☎282-1711 内線1336)

## ①出生数・死亡数と合計特殊出生率の推移



### ①の図表から分かること

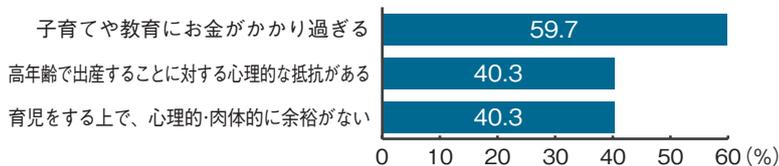
#### ▼これまで村では

出生数が死亡数を上回る「自然増」が続いてきました。

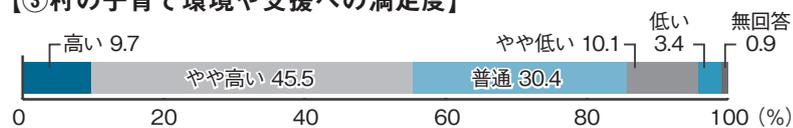
#### ▼現状と今後

出生数は、近年約400人程度の水準を維持しており、合計特殊出生率を見ると、本村は国・県と比較して高い水準を維持しています。一方、死亡数は、老年人口(65歳以上)の増加を背景に増加傾向にあることから、近い将来には、死亡数が出生数を上回る「自然減」に転じる見込みです。

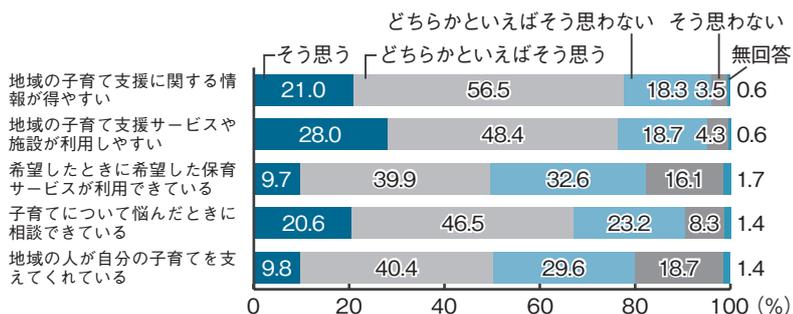
## ②理想の子ども数を持たない理由



## ③村の子育て環境や支援への満足度



## ④村の子育て環境について



### ②～④の図表から分かること

#### ▼理想の子ども数と実際に予定している子ども数とのギャップ

村のアンケート調査結果では、既婚女性が理想とする子ども数の平均は**2.40人**ですが、**実際に予定している子ども数の平均は1.96人**で、**0.44人のギャップ**があります。

#### ▼理想の子ども数を持たない理由

「子育てや教育にお金がかかり過ぎる」が59.7%と最も多くなっています。なお、「育児をする上で、心理的・肉体的に余裕がない」が40.3%と、国(15.3%)よりも高い点の特徴です。

#### ▼村の子育て環境や支援への満足度

「高い」と「やや高い」の合計は55.2%に上り、半数を超える方が村の子育て環境や支援に満足していることが分かります。情報や施設の利用については、満足度が比較的高く、保育サービスの利用や地域における子育てについては、比較的低くなっています。

▼出典…①「人口動態統計特殊報告(厚生労働省)」[人口統計資料集(国立社会保障・人口問題研究所)]、②「結婚・出産・子育てアンケート(東海村・平成27年)」、③④「子ども・子育て支援事業計画策定アンケート(東海村・平成26年)」